

タイトル	高校生がこども食堂		
情報源	福井新聞	日付	令和3年6月23日(水)
事業所 発信担当	(星槎国際高校福井) 加藤 純一	備考	

高校生がこども食堂

星槎国際高福井の有志 中央1、初回27日



「明るく親しめる場に」

福井市の星槎国際高福井学習センターの生徒が6〜11月、市内でこども食堂「次世代こども食堂食番王様(フードバンキング)」を開設する。高校生が運営するこども食堂は県内では珍しい。22日は初回の27日に向けた打ち合わせがあり、生徒は「いろんな人が気軽に集える、明るい雰囲気のレストランにしたい」と意気込んでいた。

(児島崇之)

同センターでは現在、通信制で約70人が学んでいる。社会貢献を通じて支え合いの心を育んでもらおうと企画。休業中の飲食店の協力もあり、有志の生徒10人が6〜11月(8月除く)の毎月最終日曜に食堂を開くことになった。

この日は会場となる中央1丁目の「ピッコロ・タワーヴォロ」で生徒ら10人が打ち合わせを行った。市から、家庭で余った食品を回収するメニューについて話し合う生徒ら22日、福井市中央1丁目

る「フードドライブ」事業で集まった米やカレールーなどの寄贈を受け、提供するメニューのアイデアを巡らせたり、来場を呼び掛ける看板を制作したりした。

2年の津田陽恵さん(16)は「緊張もあるけど、多くの人に来てもらえるのが楽しい。小さい子でも親しみやすい場所にしたい」。3年の山口康太さん(17)は「家でも自炊をするので、料理には自信がある。接客も頑張って、明るく迎えたい」と来場を呼び掛けた。

同センターの加藤純一センター長(44)は「多くの人に支えられていることを生徒たちが体感できる場としたい」と話していた。

27日は午前11時半〜午後4時。120食限定で子ども無料、大人は300円。同センターでは今後の食堂運営に向け食材提供などの協力を随時受け付けている。問い合わせは同センタ

1(同市若杉) ☎0776(33)5070。
市のフードドライブで集まった食品は順次、市内の子ども食堂や福祉関連施設に配布される。